

(株)クローバー様 キネステティクス®体験講座 アンケート結果 37名

2017年1月7日 13:00~16:00

於： 福岡市城南市民センター 3階

・骨の役割、筋肉の役割で上手に使いえば、重さを流すことができ、軽い力で移乗ができるので、介助する人、される人共に楽にできて勉強になりました。

・体の動き、使い方で介助がとても楽になったことに驚いた。

・今後、動作一つでも支持面を考え、利用者様が自立できるよう提案できればと思います。

・介助する方、される方、両方の負担が少ない移乗を知り勉強になりました。次回より活かしていきたい。

・本日、キネステティクスを受講させて頂いて、率直に直接仕事にはつながらないと思いますが、人間にとって、動きはすべて理にかなって活動していると感じました。

・今回はこの講座を開いていただきありがとうございました。以前より興味がありましたが、講座が始まった最初は、普段無意識で動きをしていたので、あまり「ピン」とこず、難しいと思っていましたが少しずつ、理解できるようになると楽しくなりました。用具の搬入時等に活かしてみたい。

スキルアップしたいと思います。

・このような講座は初めて体験しました。今後の現場において、役立つと思います。

・体重を逃がすことで、介助者側の負担が大きく減ると感じました。個々の身体状況、残存機能を活かした支援、福祉用具を活用した支援ができるのではないかと感じました。本日はありがとうございました。

・体の働かし方や立ち方等、改めて考えました。少しの補助でその人のできることをもっと増やせると感じました。本日はありがとうございました。

・手すりに関し間違っていた。縦手すり、引いて立つことがいいと思っていましたが、立ち上がりの発見があった。寝返りの指導ができればよい。

・今迄これが良いと思っていた介助の仕方や支援が、全く根底から覆され、非常に楽に支援できる。

明日からの営業でまた違う事が提案できると思います。もっと学びたくなりました。ありがとうございました。

・骨を意識したことが無かったので、意識することでこれからは役立つのかな？と思います。ありがとうございました。

・イスからの立ち上がりやポータブルトイレからの立ち上がり等、色んな方法があるが、イスを使い立ち上がるのも方法の一つだと思いました。今後、現場で役立つ時があると思いました。ありがとうございました。

・骨と筋肉の役割を福祉用具につなげるということに今後活かしていきたいと強く感じました。

・立膝介助の方法。即使用えそうです。支持面への重心の流れ、とても参考になりました。

・介助に対する支援の視点が変わりました。現場でどのくらいの提案ができるのかわかりませんが積極的に取り組みたいと思う勉強会でした。

・いろいろ考えさせられました。実際に支援したことがないので、体験して本当によかったです。ありがとうございました。

- ・目からうろこなところがあり、今後の利用者の方の見方が変わってくると思いました。転ばぬ先の杖で自立支援を無駄にしていたところがあるかも・・・と思いました。
- ・今迄もってなかった考え方で面白くもあったが、様々なレベル、体格の人に対応させるには、経験、知識が必要な気がし、少し自信がもてなかった。ついつい、一つの答えを探しがち。正しい答えは一つではないと私自身が、気づくことが始まりかな・・・と。
- ・キネステティクスとは、骨や筋肉のことを十分に学ばないと、簡単に移乗はこれ、立ち上がりはこれ、というようなやり方が一つではないので難しいと思いました。
- ・重さを支持面に流して、移乗するだけで、介助する側もされる側も楽に移乗ができ、目からうろこでした。これから、動く際、骨と筋肉の関係を考えながら、移乗したり、体位変換したりしたいと思います。
- ・イスからイスに移動する時、介助する方が声かけをし、タイミングを合わせてすると、とても楽に移乗ができ、負担も軽減した。動きをきちんと見て、どのようにして介助したらいいのかを考え、負担なく介助できるか、とても勉強になりました。
- ・動きの心地良さ、体験して初めてわかることがあり、介助する側、される側両方の体への負担がなく安全でスムーズな動作ができることが改めて勉強できました。本日、体験させて頂いた動きの心地良さを用具の提案時に念頭においておくと、利用者様、ご家族様、介助者様のためのより良い提案ができそうです。
- ・重さを支持面に流すと、抱えたり持ち上げたりしない自立支援につながるという新発見がありました。ちょっとした手の位置や足の位置で本人の能力と軽い介助でできることにも驚きでした。
- ・いい体験でした。立ち上がり等、新しい発見もできてよかったです。
- ・実体験のキネステをもっとかじりたかった。
- ・説明もわかりやすく、今後の福祉用具の提案に役に立つと思いました。
- ・全てが力の伝導だと思った。利用者の動きの支援になると思います。
- ・ありがとうございました。今後の業務の中で活かせる部分は活用し、自らも工夫していきたいと思っています。(骨、筋肉、支持面)
- ・移乗がこんなに難しいとは思ってなかったから勉強になった。役立つことがこの先あると思うので勉強できてよかった。
- ・介助動作の新しい発見はありました。体重のかけ方、自分であればどうしたら楽であるかの考え方。
- ・筋肉や骨の動きを意識したことがなかったので、勉強になりました。福祉用具についても一つひとつ考えて選ばなければいけないと感じました。
- ・重心移動や、骨への体重移動により楽な動作が可能になる。＊介助が必要な人なのか、動作の練習で不要なのかを考え目標設定をしていく。
- ・とても勉強になりました。今後もキネステティクスを利用していきます。ありがとうございました。
- ・介護は力が必要だと思っていたのが、身体の構造を知りキネステを用いることで力はさほど必要ないのだと気づきました。
- ・固定観念にとらわれない介助の方法を教えて頂いたような気がします。実践で少しでも使ったり、福祉用具の提案に役立てたいです。

最初に大山からのメッセージ 「最近の福祉用具専門相談員との関わりで感じたことなど」



そして、研修会の開始 参加者 37 名



講師を務めていただいた海尾美年子氏 キネステティクス®ベーシックコース教師
(NPO福祉用具ネット理事・理学療法士)



同じく、講師の松村美幸氏 キネステティクス®ベーシックコース教師/アドバンスコース教師
(作業療法士)が補助としてサポートしていただきました。

